

小動物に関するOSCE

麻布大学獣医学部 藤井洋子
日本大学生物資源科学部 上地正実

小動物関連のOSCE内容(案)

1. 医療面接
2. 身体検査1(犬)
3. 犬の採血
4. 無菌テクニック
5. 皮膚縫合

身体検査(犬)・採血 無菌テクニック・縫合

- ▶ 人員体制 1ステーションに必要な人員
 - 管理者: 1名(評価者を兼ねる)
 - 補助者: 1名(評価者を兼ねる)
 - タイムキーパー: 1名 (他のステーションも管理する)

皮膚縫合 評価ポイント

▶ 課題:「皮膚縫合を行ってください」

▶ 評価ポイント

- 1) 持針器を選択し、針の先端から3/4程度の部分を張り先が向かって左に位置するように持針器の先端で把持する(右利きの場合)。
- 2) 針に糸を折り返し適切な長さで装着する。
- 3) 鑷子(ピンセット)で創縁を捉え、人差し指、中指でその基軸を手背に向かうように保持する。
- 4) 持針器を針の柄の部分で把持する。
- 5) 創縁から約2mm程度離れた位置で、垂直に対して直角に針を挿入する。
- 6) 針の先端が反対側の創縁を通過するまで押し進める。
- 7) 創縁を捉え、反対側の創縁に針を挿入する。
- 8) 刺入した針の柄の部分で把持する。
- 9) 反対側の創縁を捉え、針の柄の部分で把持する。
- 10) 針の湾曲を避けて、反対側の創縁に針を挿入する。
- 11) 機械結びを適当な長さで残す。
- 12) 結び目から5mm~1cm程度残して余分な糸を切る。

器具を適切に使用し
縫合を行うことができる

無菌テクニック 評価ポイント

- ▶ 服装などの準備が適切にできている
- ▶ 術前の手洗いができる
- ▶ 滅菌ガウンを装着できる
- ▶ 滅菌グローブを装着できる

身体検査(犬)・採血 評価ポイント

▶ 身体検査

- 保定法を知っており実施できる
- 心拍数の測定ができる
- 呼吸数の測定ができる

▶ 採血

- 犬の採血法を知っており実施できる

必要な器具機材

- ▶ 犬のシュミレーター
- ▶ 採血用シュミレーター
- ▶ 採血に必要な器具
- ▶ 縫合器
- ▶ 縫合に必要な器具
- ▶ ガウン・グローブ



問題点

- ▶ 器具機材の準備
 - ヒト用のもので流用可能なものあり
 - コスト
- ▶ 人員および評価時間
- ▶ 実施上の煩雑性 担当人員の節約
 - 「身体検査・採血」「無菌テクニック・縫合」を同じステーションにするなどの工夫が必要
- ▶ 評価内容・基準の大学間での調整